

ストラスブールから スイスのツェルマットへ



ストラスブール → バーゼル
電車はいつも空いている

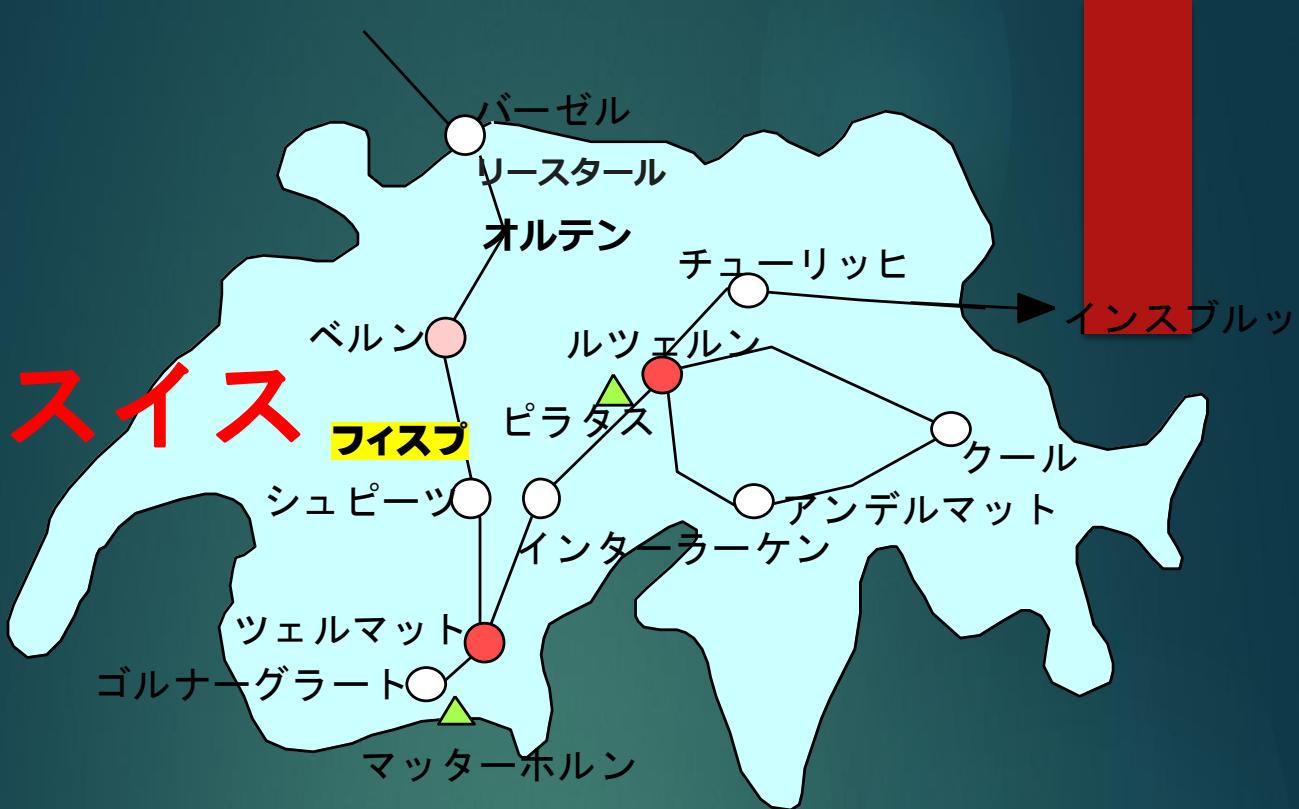
ストラスブール → バーゼル →
ベルン → フィスプ → ツェルマット



スイスに入ります



バーゼル駅





バーゼルSBB駅

オランダ、ベルギー、フランス、ドイツからの
長距離列車が集結する駅

ドイツ語で **Schweizerische Bundesbahnen**
(SBB)

スイス国鉄の駅はフランス国鉄と同じ敷地
にあるが、かつて両者のホームは金網で仕
切られていた、スイス国鉄のホームに入る
にはパスポートなどのチェックが必要だった。



税関

バーゼル駅ではフランスからスイスに入国する際の入国手続きを行う税関がまだそのまま残されている。

今回は入国手続きとうはなく、横を素通りしてスイスに入国することがことが出来た。



7番線(右の赤い機関車)は バーゼル発、リースタル、オルテン、ベルン、トゥーン、シュピーツ経由インターラーケンオスト行きのインターミティ

バーゼル駅構内

バーゼルでスイス鉄道に乗り換え



ベルンを通過
車窓からベルンの街並みが見えた



ツィットグロッゲ（ドイツ語: Zytglogge、時計塔の意）とは、スイスの首都ベルン旧市街の西門にある時計塔である。

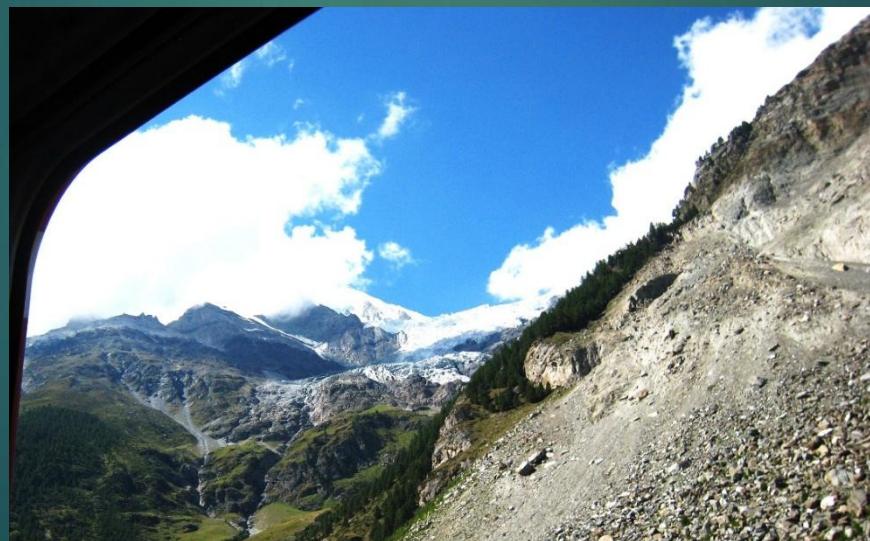


フィスプ駅に到着
MGB鉄道(マッターホレン ゴルナーグラート バーン)に乗り換え



フィスフ駅 ツェルマットへの玄関口

MGB鉄道はユーレイルパス使用不可



MGB鉄道 ツェルマットに向かう車内からの眺め



アルプスの山並みが迫ってきた



ツェルマット駅に到着



ツェルマット



ツェルマット：マッターホルンの見える町



ツェルマット駅



ツェルマット駅前



電気自動車と馬車のみが使用される
ツェルマット駅前





ツェルマット駅前通り



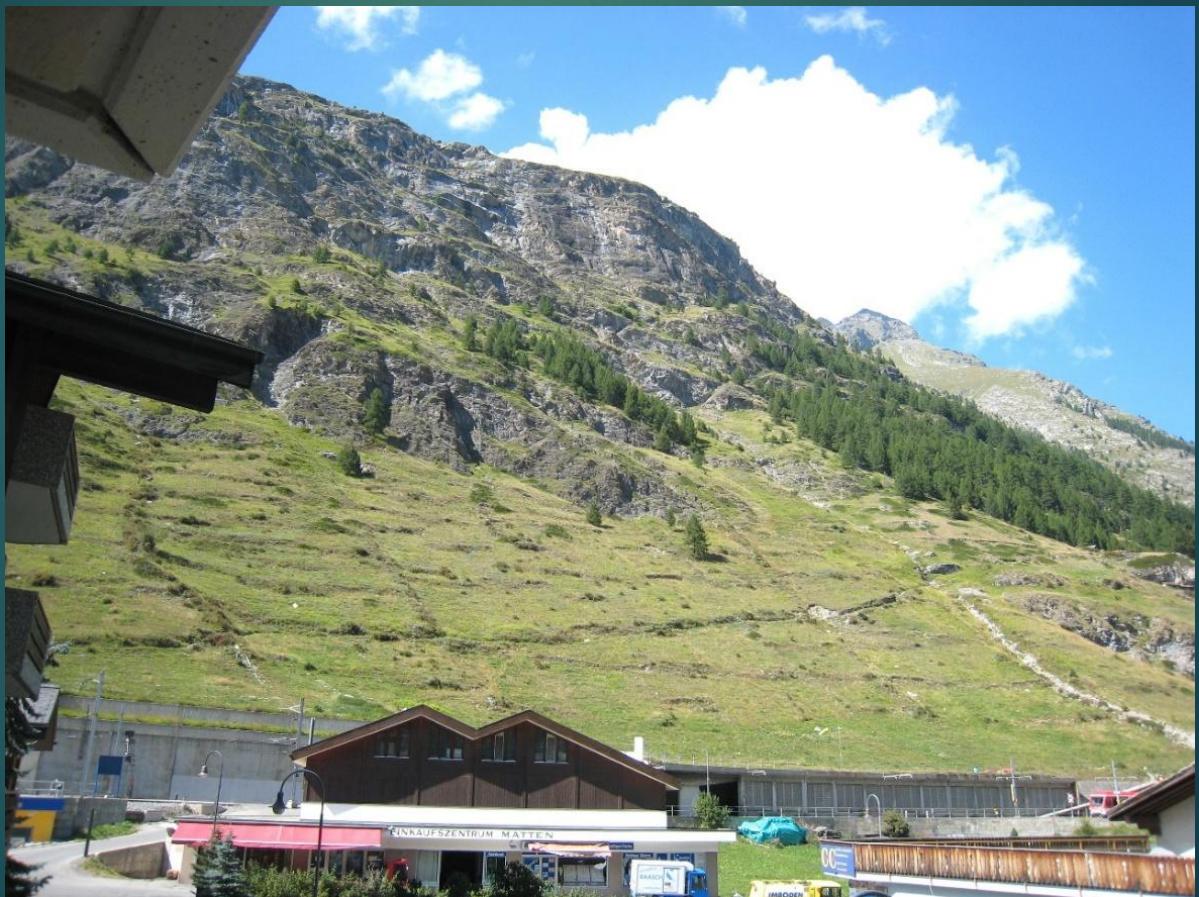
ツェルマット駅前通り

Le Mirabeau Resort & Spa



ホテル ミラボ
ツェレマットのホテル 駅から徒歩5分





ホテルからの眺め



散歩に出かけた



川の水が乳白色であったのが印象的



マッターホルンが見えてきた





マッターホルンに雲がかってきた



残念ながら本日ははっきりした雄姿
を見ることできなかった



雲がかかってきた これが限度



此のぐらい見えると良かったのだが

ゴルナーグラート鉄道 Gornergratbahn



ゴルナーグラート行きの登山電車



標高1605メートルのツェルマットから3089メートルのゴルナーグラートまで一気に駆け上る！



ゴルナーグラート鉄道





山頂のゴルナークラート駅





セントバーナード犬がお出迎え





山上のクルムホテル



ゴルナーグラート展望台へ

ゴルナーグラート展望台



ゴルナーグラート展望台の内部



氷河とモンテローザ



左がモンテローザ、右がリスカム



ゴルナーグラート展望台

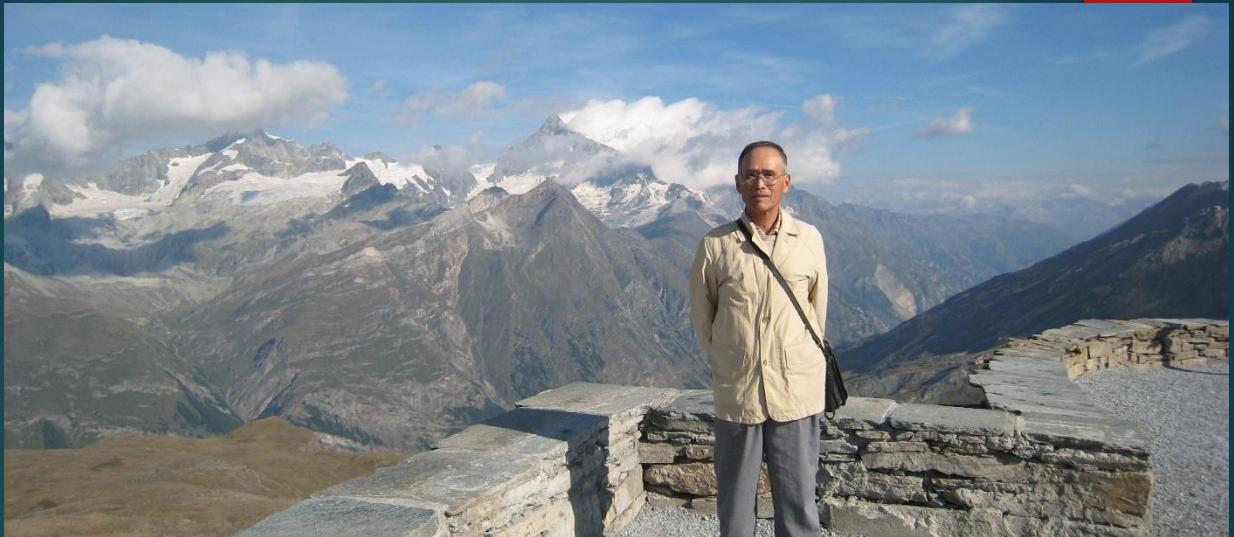






ゴルナーグラート山稜にある展望台（標高3089m）





ゴルナーグラートは標高3,089m

ローテンボーデン駅／Rotenboden (2,815m) 経由
ツェルマット 標高1,620mまで下山



ゴルナーグラートから下山開始

標高差 約1400m 所要時間 約5時間



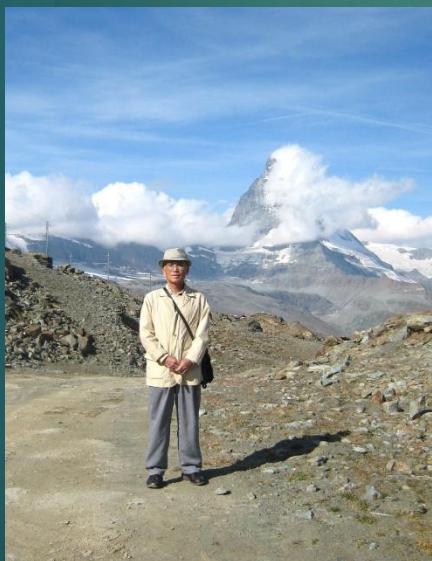


ゴルナーグラート鉄道



背後にマッターホルン





クルムホテルで買った
マッターホルンチョコレート



マッターホルンは半分雲に隠れている





ゴルナーグラート鉄道が上って来る



マッターホルンは雲の中





逆さまマッターホルンの名所
リッフェル湖に到着

リッフェル湖（小さな池です）



マッターホルンは雲の中



運が良ければ逆さまのマッターホルンが見える
リッフェル湖に映った逆さまのマッターホルン



本日はぜんぜんダメでした



池の中に魚がいたのでびっくり



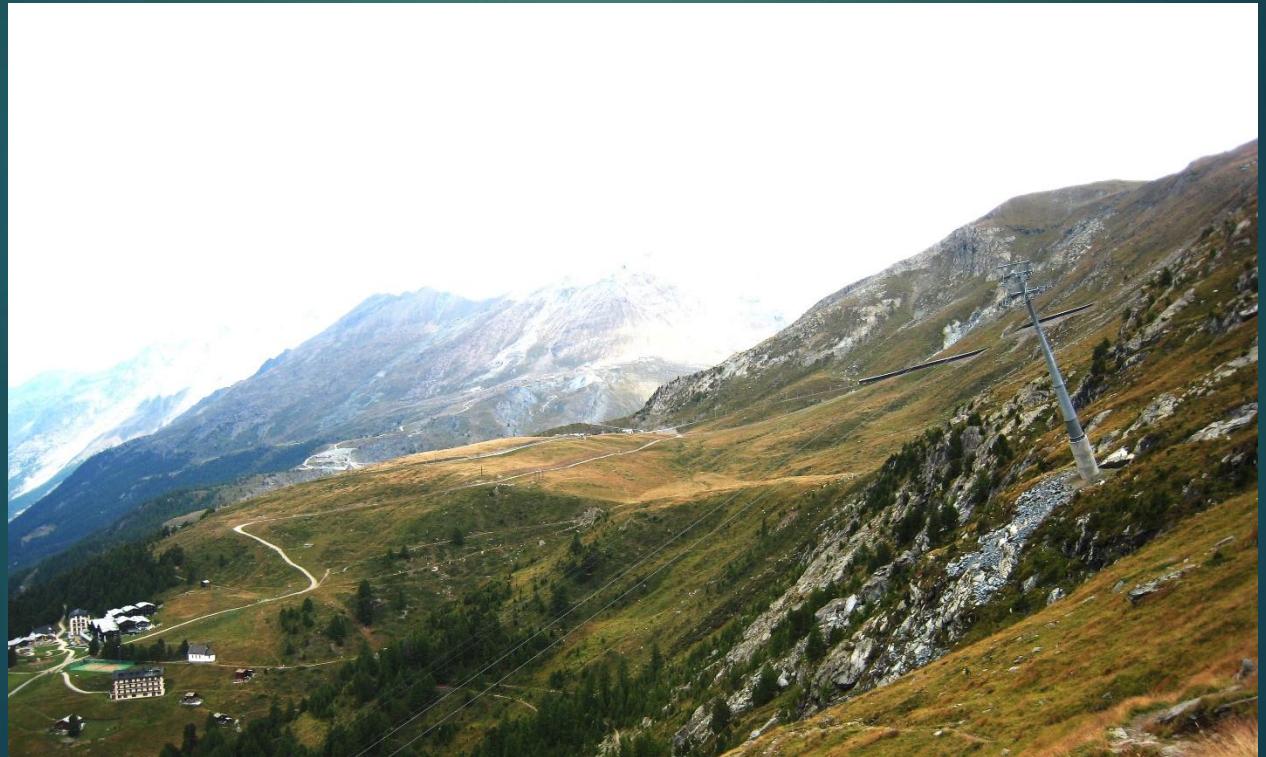
羊が池の近くで散歩していた



高山植物も綺麗に咲いていた



谷底に向かって降りていく





電柱も人間も斜め





やっと麓に降りてきました



無事ホテルまであと少し



無事ホテルに到着



明日に備え ゆっくり 夕食



明日はゴルナーグラートから
シュピーツ経由ルツェルンへ



乗り合わせた人達



シュビーツに到着



シュビーツ駅内



シュビーツ駅からツゥーン湖が見える



**(シュピーツ) トゥーン湖の真珠、
スイスアルプスのレイクリゾート。**



山と湖の絶景の宝庫。



シュピーツでICEに乗り換え



電車は空いている



幾つもの湖と山を越える





町が見えてきました

ルツェルン到着



ルツェルン駅



コンチネンタル・パークホテル CONTINENTAL PARK



ルツェルン湖とカペル橋



コンチネンタル・パークホテルの裏側出入り口
CONTINENTAL PARK

カペル橋



ロイス川南岸の町から中世の街並の残る旧市街の聖ペテロ礼拝堂（ペータースカペレ）Peterskapelleがある市庁舎通りへ結んでいる。





カペル橋 (Chapel bridge / Kapellbrücke)

ロイス川に架かる全長約200mの橋はルツェルンの
シンボルで、町と聖ペテロ礼拝堂を結んでいる。





1300年頃建造の八角形の石造りの塔

見張り塔







17世紀制作の全110枚の板絵
スイスとルツェルンの歴史が描かれている







中世の街並の残る旧市街の聖ペテロ
礼拝堂（ペータースカペレ）がある市
庁舎通り

船着き場（ルツェルン）



ビュリュゲンシュトック行の定期便乗り場
定期便はユーレールパスが使用可能



リギ山に行くために船でフィッツナウに向かう



ホーフ教会（船から見た景色）





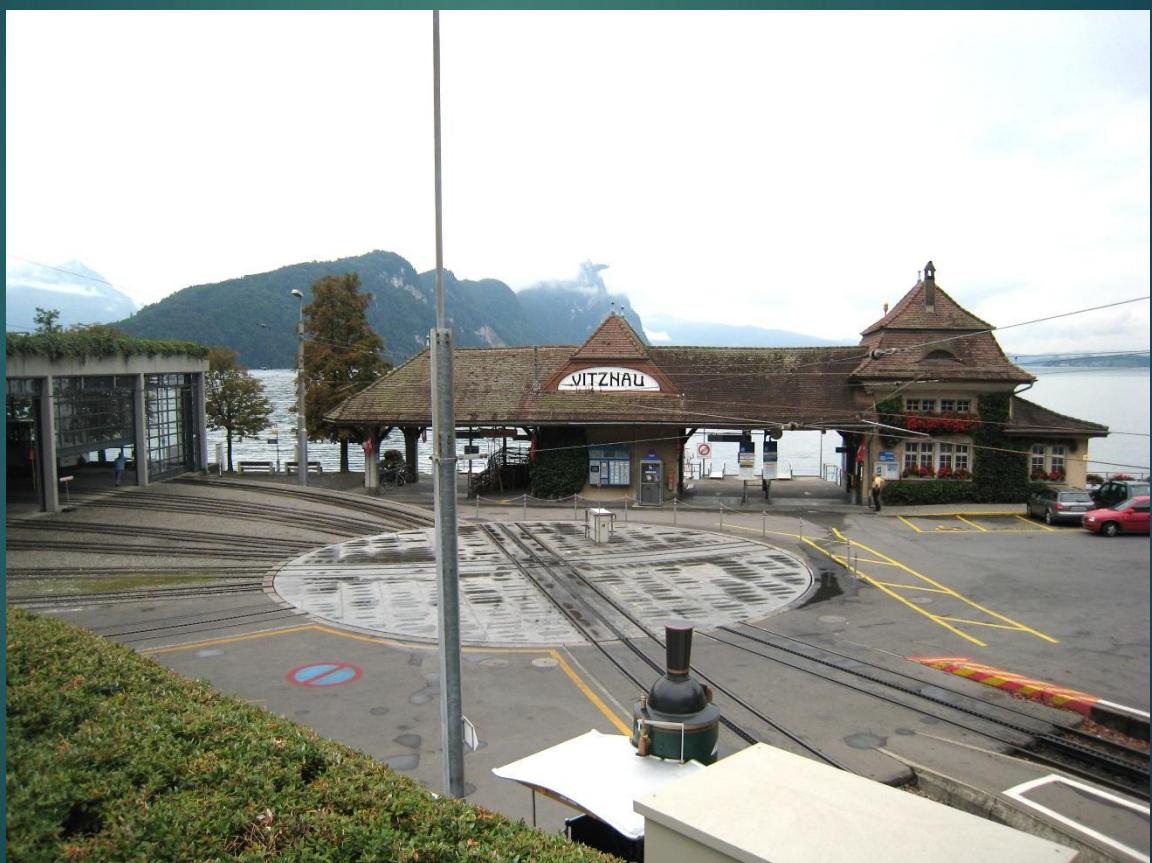
ルツェルン、フィッツナウ間 定期便のレストラン



話しかけてきた地元の老人 聖書を読んでいた



フィッツナウ駅に到着



フィッツナウ：リギ山登山鉄道の転車台



リギ山に登る登山電車フィッツナウの駅



天候不順のためリギ山行きは
あきらめた

リギ山

ヨーロッパ最古となるフィッツナウからの登山鉄道



山の女王といわれアルプス観光の先駆
けとして古くから発展したリギ山

ルツェルンに戻ってムーゼック城壁を散歩

ムーゼック城壁

ムーゼック城壁はルツェルンの街をぐるっと囲むように建てられ、現存する城壁としてはスイス最長を誇ります。14世紀後半に敵から街を守るためにつくられた見張り塔が、現在も9つ残っている。



ムーゼック城壁



瀕死のライオン像



フランス革命時代のスイス傭兵をたたえる慰霊碑



フランス革命下の1792年、革命家の攻撃からフランス王家を守り亡くなったスイスの傭兵 警備兵たちを記念してつくられた像



夕暮れのルツェルン湖畔を散策

ピラトゥス山



ホテルのベランダから



ルツェルンの南にある標高2,128mの山で、イエス・キリストの処刑に関与したとされるローマ帝国ユダヤ属州統督ピラトゥスの靈が住み着いた伝説のある靈峰。

ピラトゥス山に向かう



アルプナッハシュタット駅



早朝 電車でルツェルン～
アルドルフ～アルプナッハシュタットへ



登山電車の駅構内
沢山の花が飾ってあった



アルプナッハシュタット駅



ピラトゥスケーフル

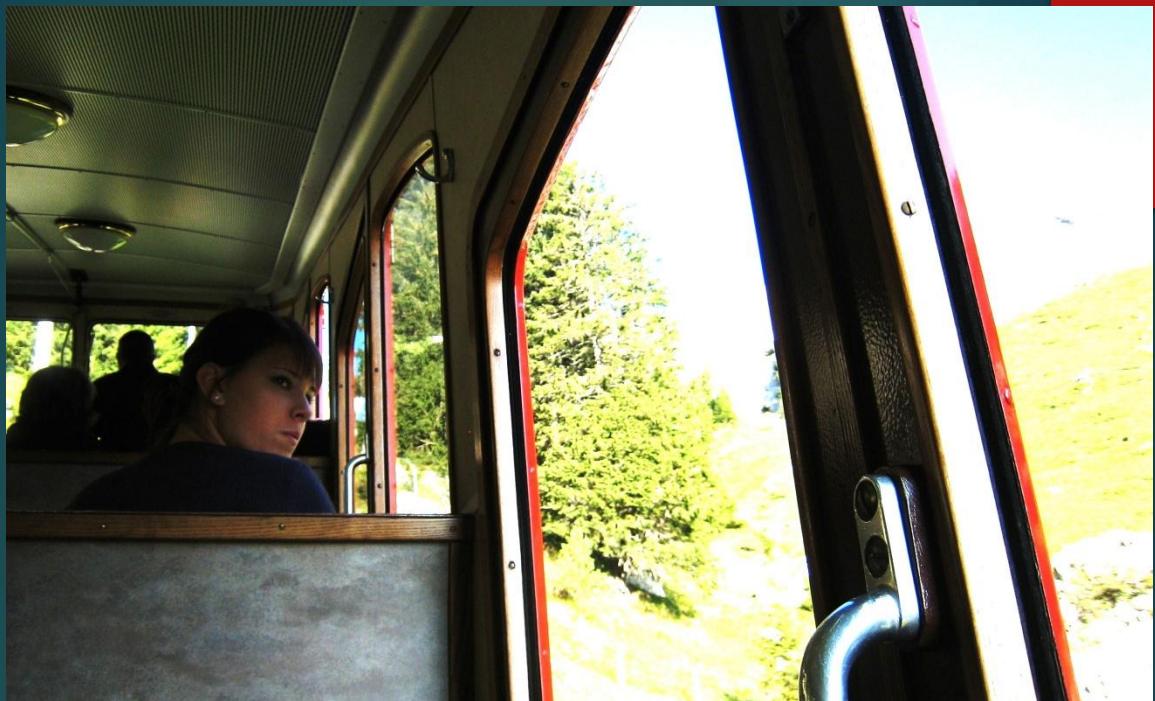




イギリスから来た観光客



スロバキアから来た観光客の皆さん

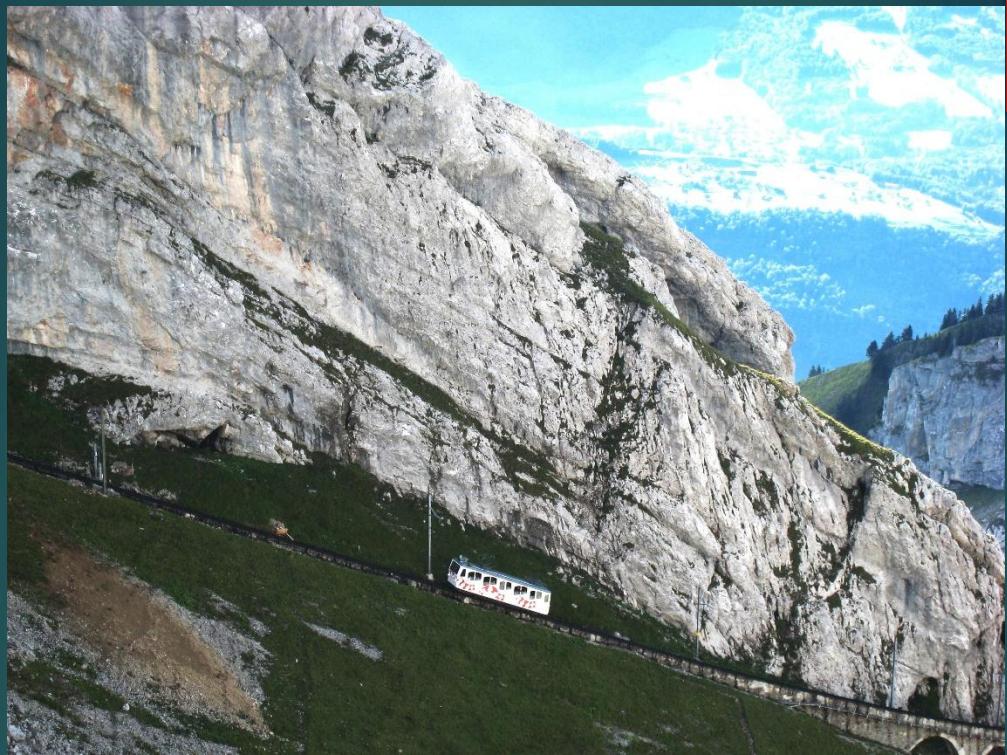


ケーブルカーで一緒になったイギリス
はウェールズのカップル（学生さんです）

登山鉄道「ピラトゥス鉄道 Pilatusbahn」は世界最大勾配の 斜面を行く鉄道として有名



ピラトゥスケーブルカー



ピラトゥス山頂



標高 2,128m の山で、イエス・キリストの処刑に関与したとされるローマ帝国ユダヤ属州総督 ピラトゥスの靈が住み着いた伝説のある靈峰。



ピラトゥスケーフル山頂駅前



ケーフルが到着するとホルンを演奏開始



ピラトゥス展望台



眼下にルツェルン湖が見える

帰りはロープエーを乗り継いで、麓へ降りバスでホテルに戻った



ピラトゥスロープウェイ からの眺め



白い曲線はルージュのコース



ピラトゥスのロープ・パーク アスレティック遊び



ピラトゥスのロープウェイ 端に到着



電車に乗って ルツェルンに戻った

写真集3 END